

数学・理科甲子園2006実施要項

1 目的

高校生が、数学、理科、科学技術等の知識、技能を用いて、日常生活と関連づけながら科学的に問題を解決するとともに、論理的に説明することによるプレゼンテーション等を行い、互いに切磋琢磨することにより、科学技術等に対する興味・関心、意欲・能力を高める。

- 2 主催 兵庫県教育委員会
後援 甲南大学

- 3 期 日
平成18年11月11日(土)

- 3 会 場
甲南大学 講堂兼体育館
〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 TEL 078-431-4341 (代表)

- 4 対 象 者
兵庫県内にある公・私立高等学校および中等教育学校後期課程に在籍している高校生

5 対戦方法及び順位の設定

- ① チーム対抗戦とする。(1チーム3名)
- ② 数学、理科、科学技術等に関する基本的な問題、応用問題、総合問題をチーム全員で解決する。
- ③ 予選：チーム対抗で、上位16チームが本戦に進出する。
本戦：16チームを2ブロックに分け、各ブロックの上位2チームが準決勝に進出する。
準決勝：4チームがプレゼンテーション等を行い、2チームが決勝に進出する。
決勝：2チームが対戦する。

- 6 表 彰
優勝1チーム、準優勝1チーム、3位2チーム、特別賞

- 7 チームと引率教師
1チーム3名(3名は同一学校の生徒)
各チームに引率教師が1名(複数チーム出場の場合も、学校に1名で可)

- 8 参加申し込み期間
平成18年9月1日(金)から9月29日(金)必着

- 9 応募方法
学校長の推薦を受けて、別紙応募用紙を高校教育課長あて郵送する。
提出先 〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10-1
なお、応募チームが多数の場合は、1校からの応募数を制限することもある。

- 10 問合せ先
県教育委員会事務局高校教育課 TEL 078-341-7711(内線5745) FAX 078-362-4288

○ 審査基準

- ・ 数学、理科、科学技術に関する基礎的・基本的な知識
- ・ 発想のユニークさ
- ・ 説明の論理性、科学性
- ・ プレゼンテーション能力

○ 問題例

予選の問題

「マッチ棒6本で正三角形が一度に最大何個できますか？」

本選の問題

「探査機を火星に衝撃を少なくして着地させる方法を考えなさい。ただし、火星は二酸化炭素で占められた層の薄い大気、火星の重力は地球の約8分の3である。」

キ リ ト リ

数学・理科甲子園 2006 応募用紙

| | |
|------------------|--|
| 学 校 名 | |
| 学校長名 | |
| チーム名 | |
| フリガナ 氏 名 (学年) | |
| フリガナ 氏 名 (学年) | |
| フリガナ 氏 名 (学年) | |
| 引率教諭氏名 | |

